海外安全対策情報（平成３０年７月～９月）

１　社会・治安情勢

　ベラルーシの治安は，おおむね良好ではあるものの，過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため，多くの人が集まる記念式典やコンサート，集会等においては十分に注意が必要です。

２　一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば，2018年1月1日から6月30日（2018年10月24日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は41,317件で，前年同期と比較し5.9％減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア　窃盗14,063件（前年比13.5％減）
（うち住宅対象侵入窃盗）4,353件（同9.3％減）
イ　公然窃盗729件（同3.6％減）
ウ　恐喝43件（同48.2％減）
エ　詐欺2,230件（同3.1％増）
オ　暴力犯罪1,875件（同0.2％増）
カ　殺人及び殺人未遂150件（同9.6％減）
キ　重傷傷害350件（同4.9％減）
ク　強盗78件（同13.3％減）
ケ　強姦及び強姦未遂83件（同23.1%減）

（２）邦人被害事案は報告されていません。

（３）2018年7月～9月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア　7月10日，ミンスク市勝利者大通りで女性と乳児を乗せ走行していたタクシー運転手が飲酒運転をしたとして逮捕された。運転手の血中アルコール濃度は基準値を大幅に超えるものであった。
また，交通警察は子供の安全な乗車のため，車内におけるチャイルドシートの有無をチェックしているとのことである。

イ　7月20日，ボブルイスク市の警察に女性から助けを求める電話が入った。女性はもう一人の女性と，市内ルインコヴァ通りの住居に正体不明の男性が侵入したので風呂場に隠

れた，とのことであったが，正確な住所は伝えられなかった。
捜索の結果，住居は突き止められたが，26 歳と 27 歳の女性 2 名が遺体で発見された。
事件直前に被害者達とカフェで知り合ったばかりの 36 歳の前科のある無職の男が容疑者として逮捕され，現在取り調べが行われている。

ウ　8 月 17 日，ミンスク市プリトィツカヴァ通りとリドスカヤ通りの商店で発生した 2 件の強盗に関与したとして，25 歳の前科のある男が逮捕された。
男は店で拳銃のようなものを使い強盗を働いており，それが実物であるか否か調査中。

エ　9 月 22 日，ミンスク州リュバンスキー地区クズミチ村で，68 歳の年金生活者の男性の遺体が発見された。
当初の取り調べにより事件性を孕む事件であることが分かり，隣村の 33 歳の前科のある男が逮捕された。同人は被害者の男性と口論となり，殴る蹴るを加えたとのことである。事件詳細については現在捜査中。

３ テロ・爆弾事件の発生状況
　なし。

４ 誘拐・脅迫事件の発生状況
　なし。

５ 日本企業の安全に関する諸問題
　なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し，自身の安全確保に努めてください。